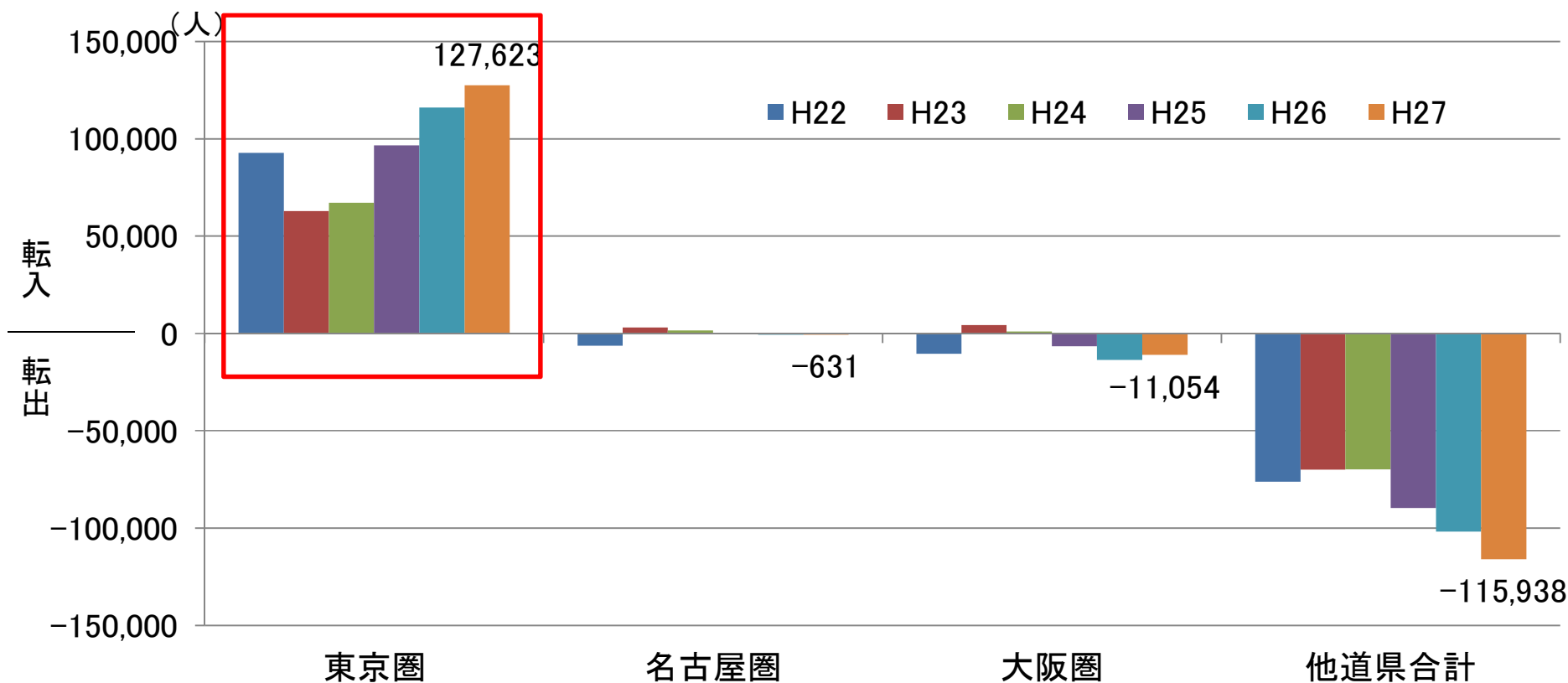


東京一極集中の現状について

岐阜県作成

転入超過となっているのは、東京圏のみであり、
転入超過数は、拡大している。

都市圏別 転入超過数



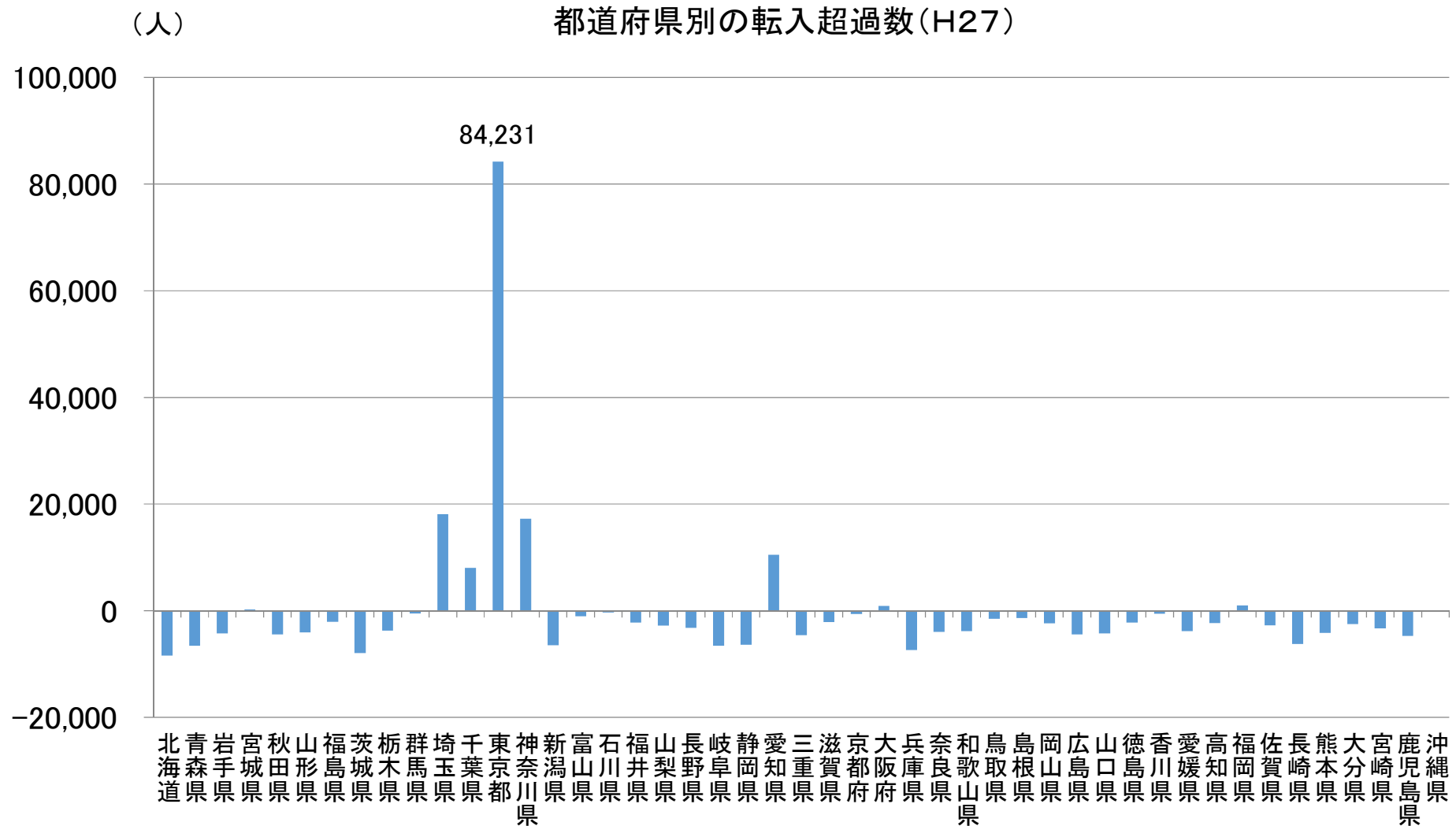
(資料出所) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」(H22~H27)

(備考) 東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)

名古屋圏(愛知県、岐阜県、三重県)

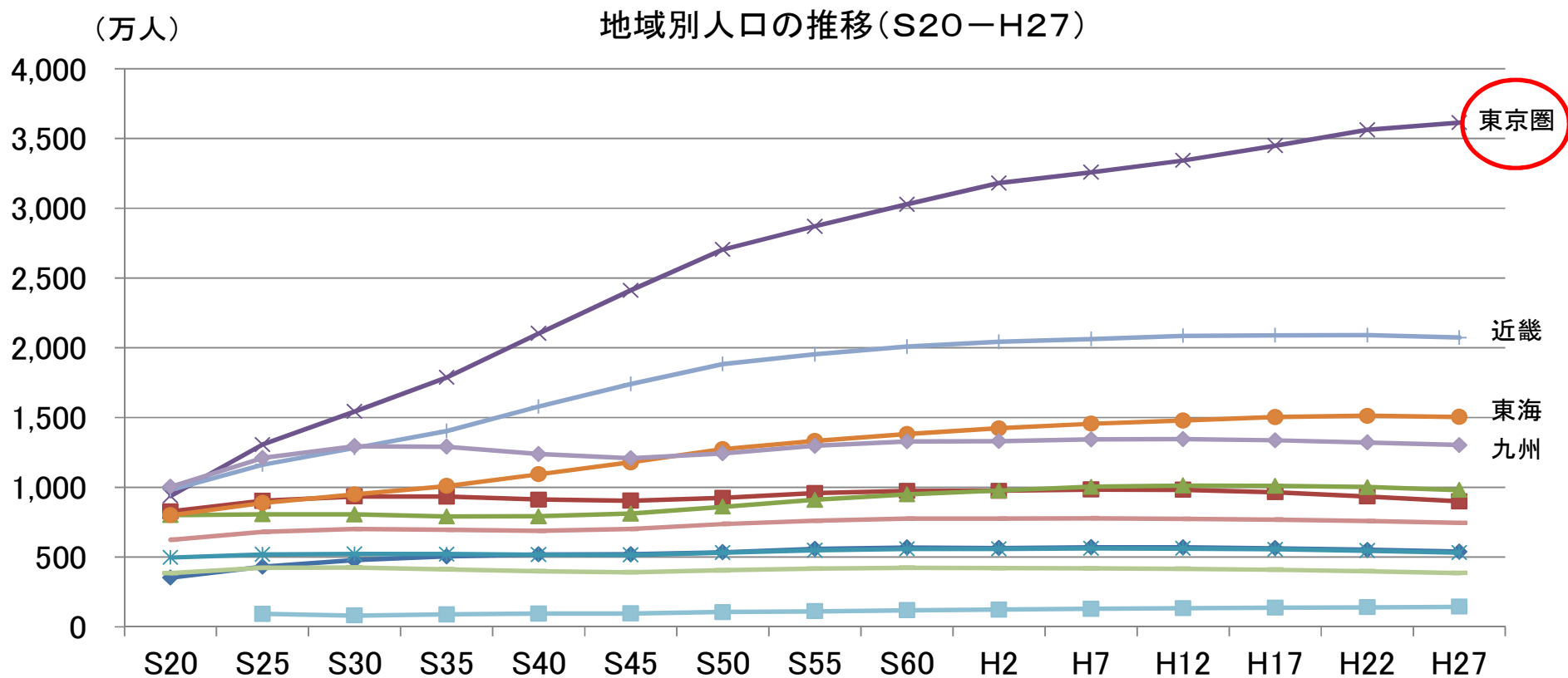
大阪圏(大阪府、兵庫県、京都府、奈良県)

特に、東京都への転入超過が著しい。



(出所)総務省「住民基本台帳移動報告」(H27)

東京圏の人口のみが、一貫して増加を続け、 平成27年の東京圏の人口は、日本の総人口の4分の1超に。



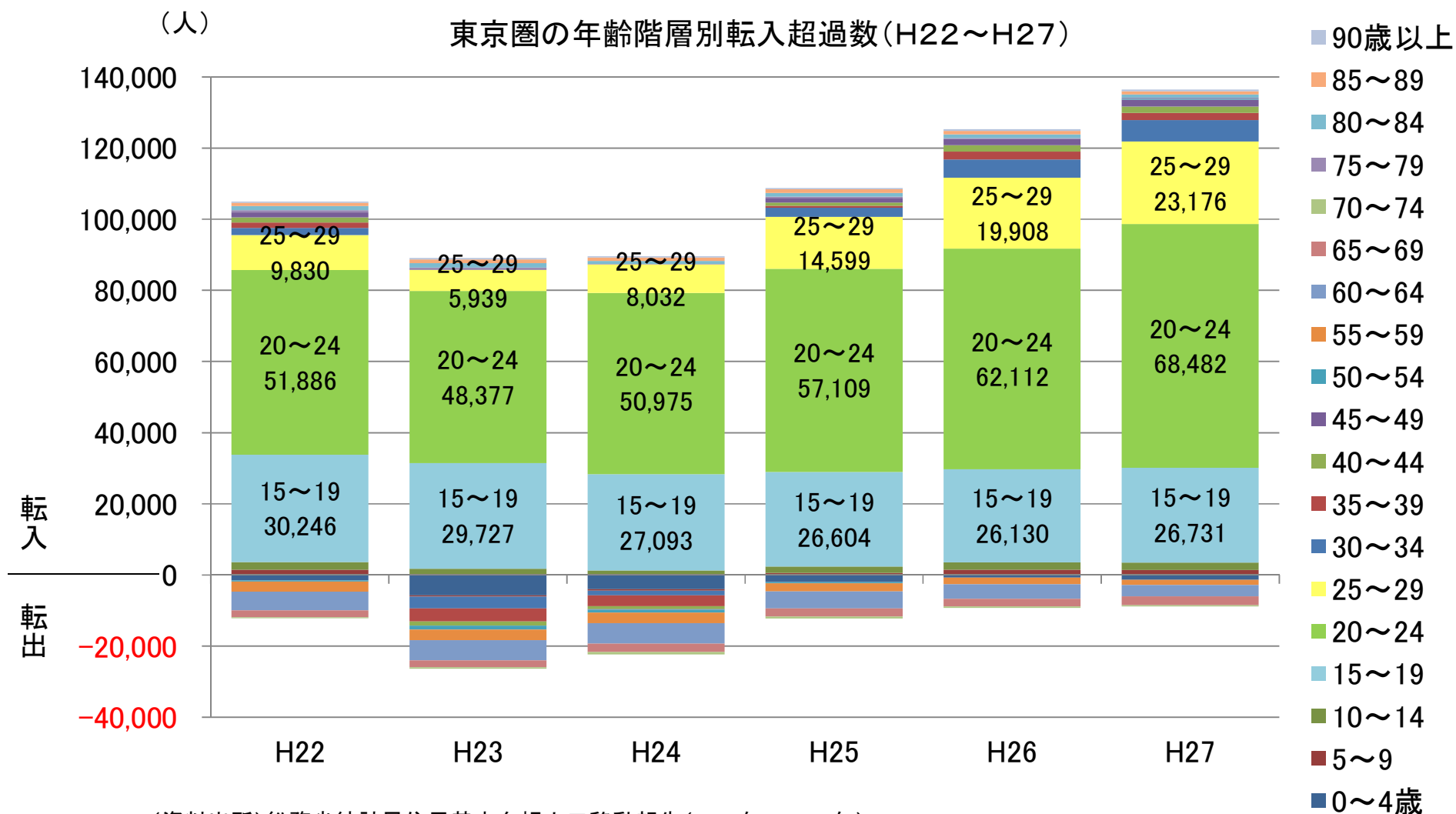
(出所)総務省「国勢調査」

(備考)S20年は、沖縄県は調査されなかった。

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 北関東：茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県
 東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

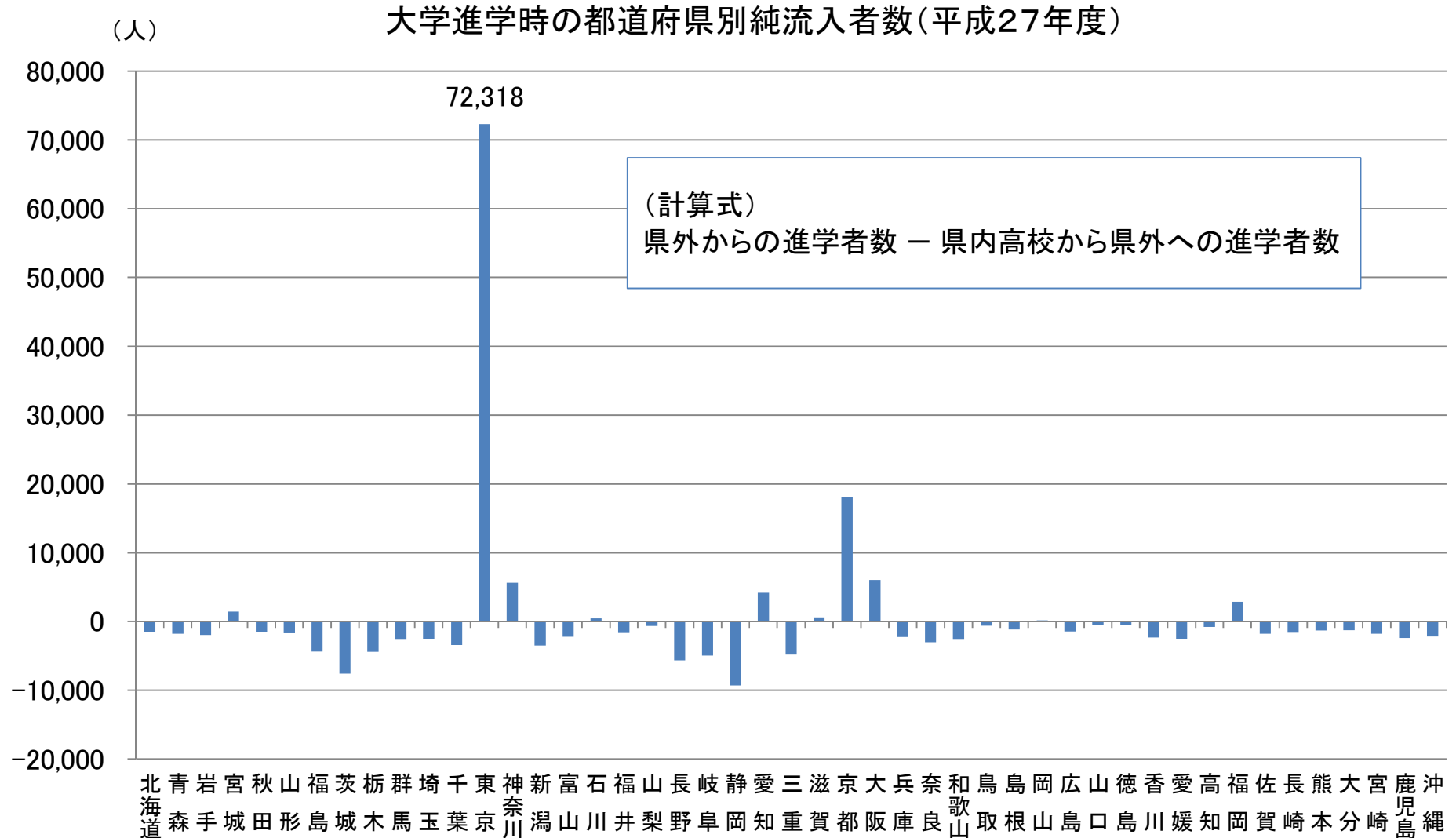
近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

東京圏への転入超過数の大半は15～29歳の若者。 大卒後就職時、大学進学時の転入が要因と考えられる。



(資料出所) 総務省統計局住民基本台帳人口移動報告(2010年—2015年)
(備考) 東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)

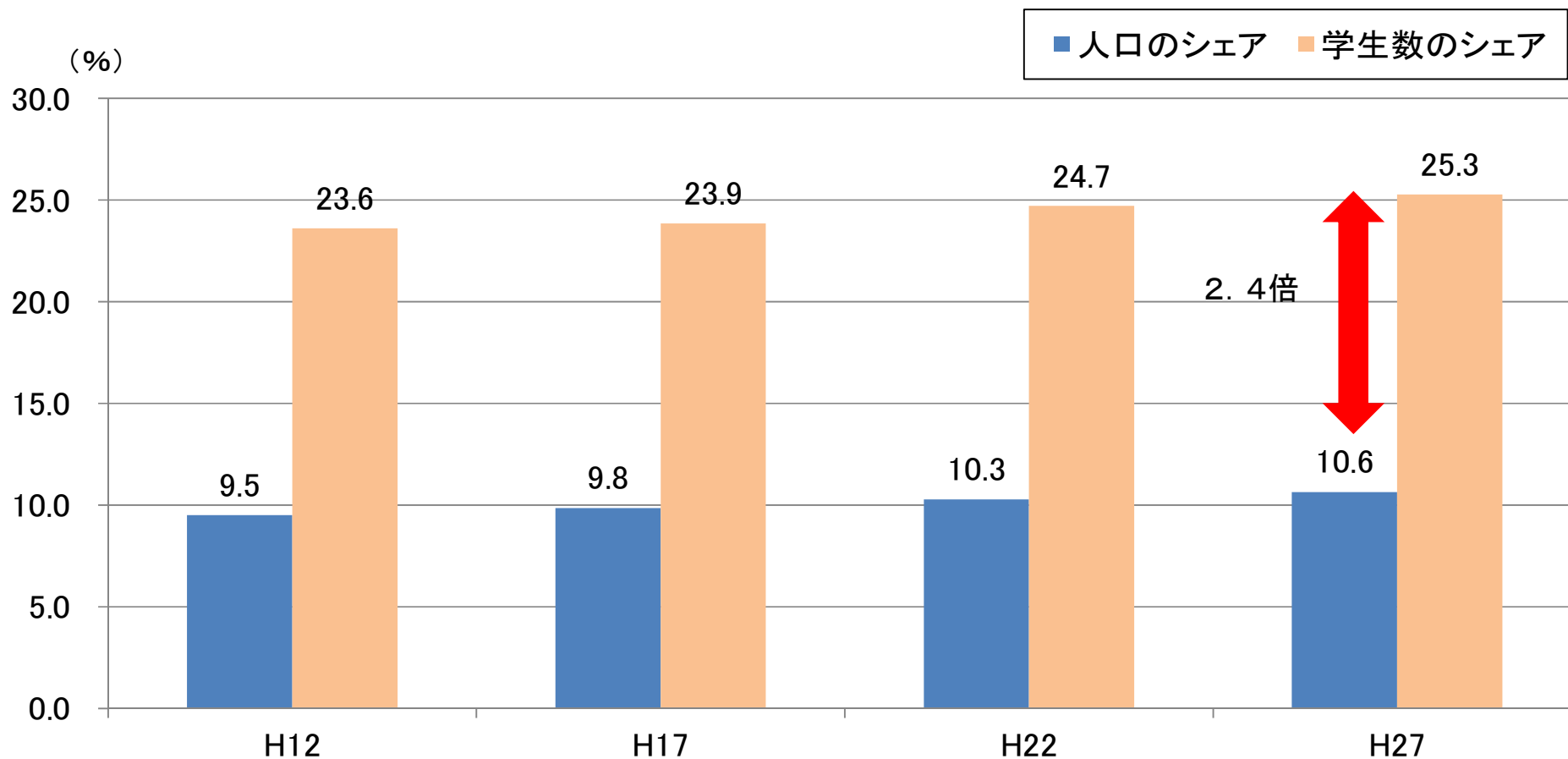
大学進学時における東京都への流入は著しい。



出所: 文部科学省「学校基本調査」

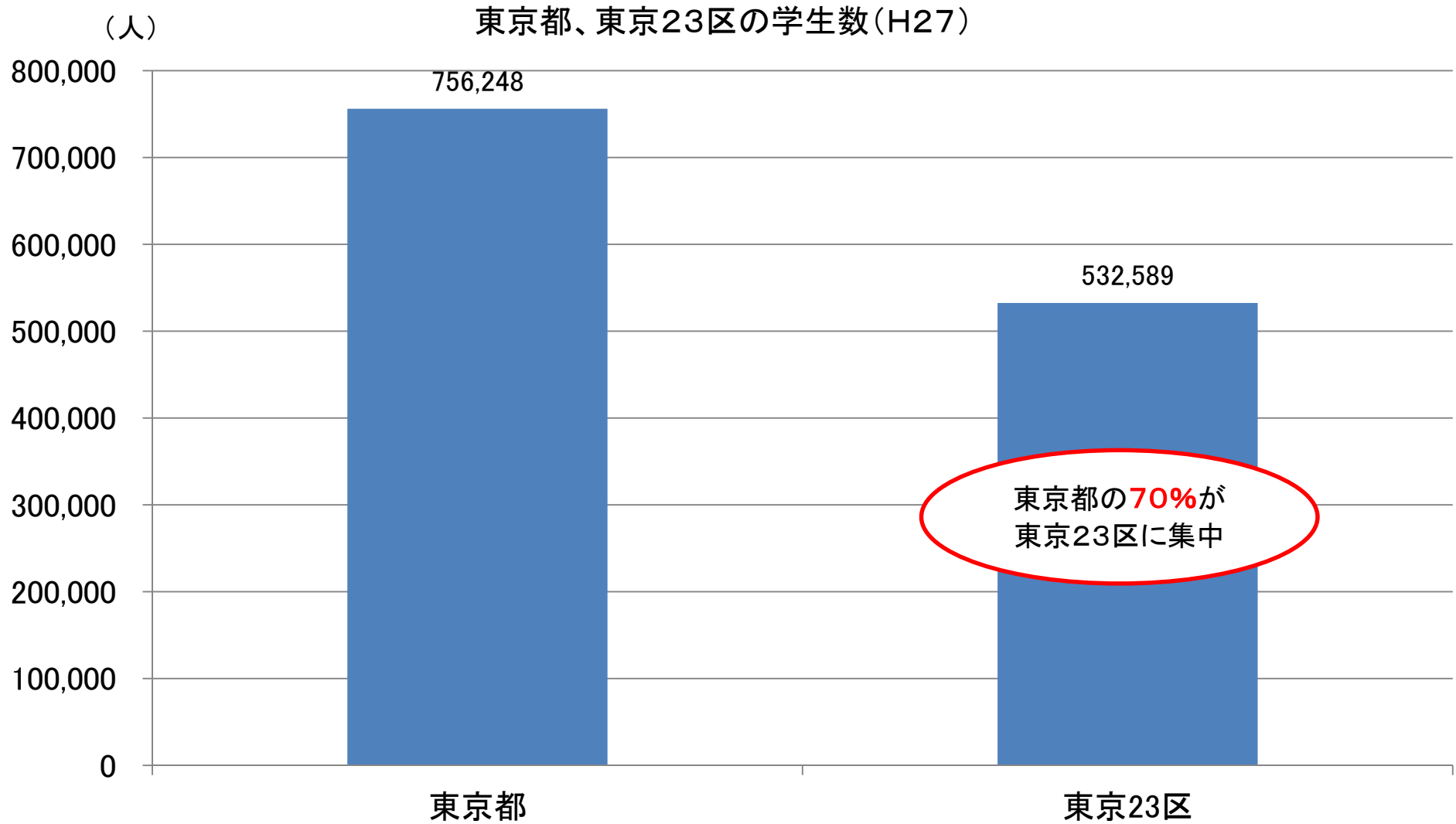
東京都の総人口比は、約10%であるのに対し、
大学生は、約25%が東京都の大学に就学している。

東京都への学生の集中状況(H22-H27)



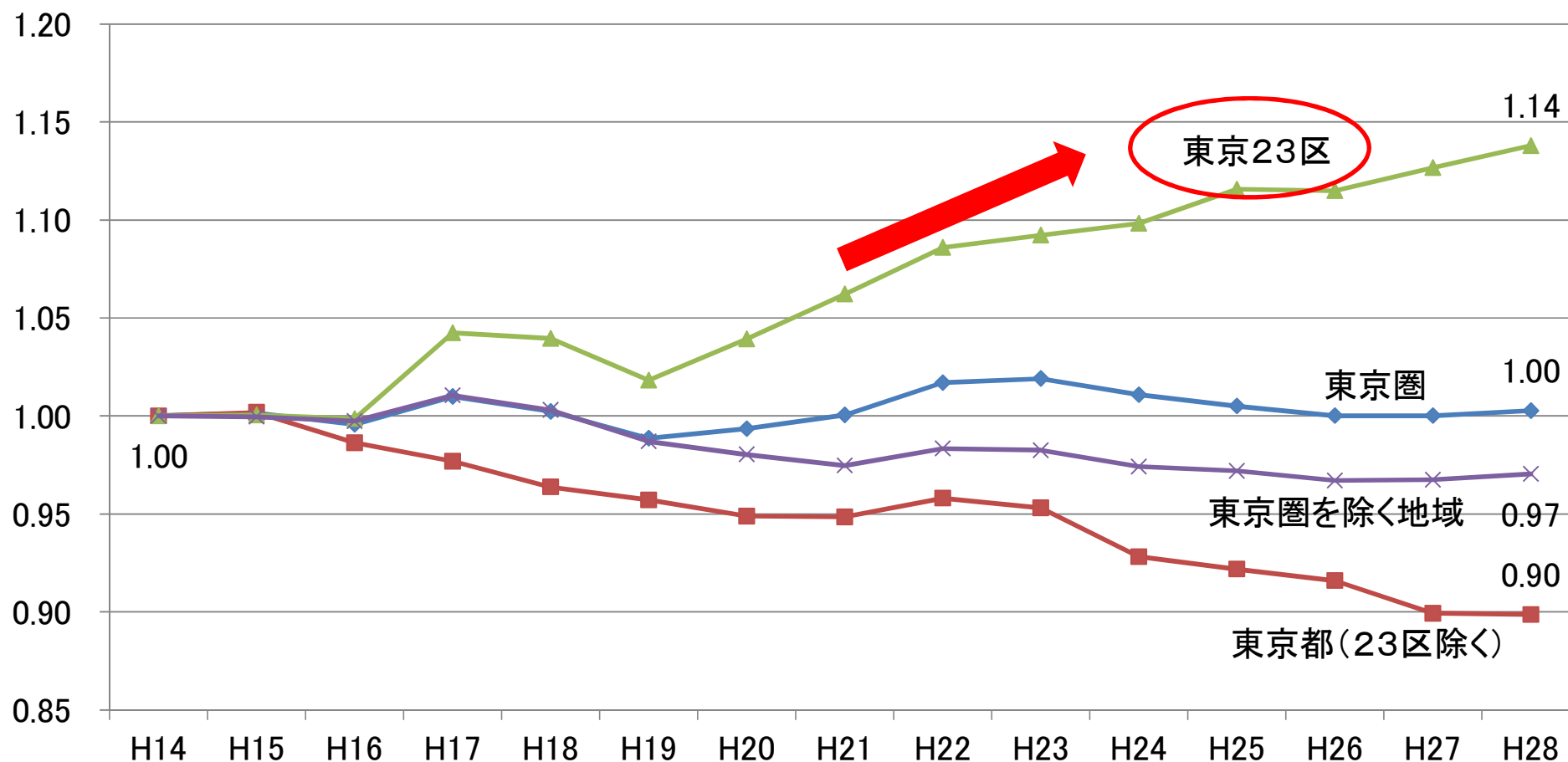
(出所)総務省「国勢調査」、文部科学省「学校基本調査」

学生の「東京23区」への集中が著しい。



東京23区の学生数は一貫して増加傾向にある。

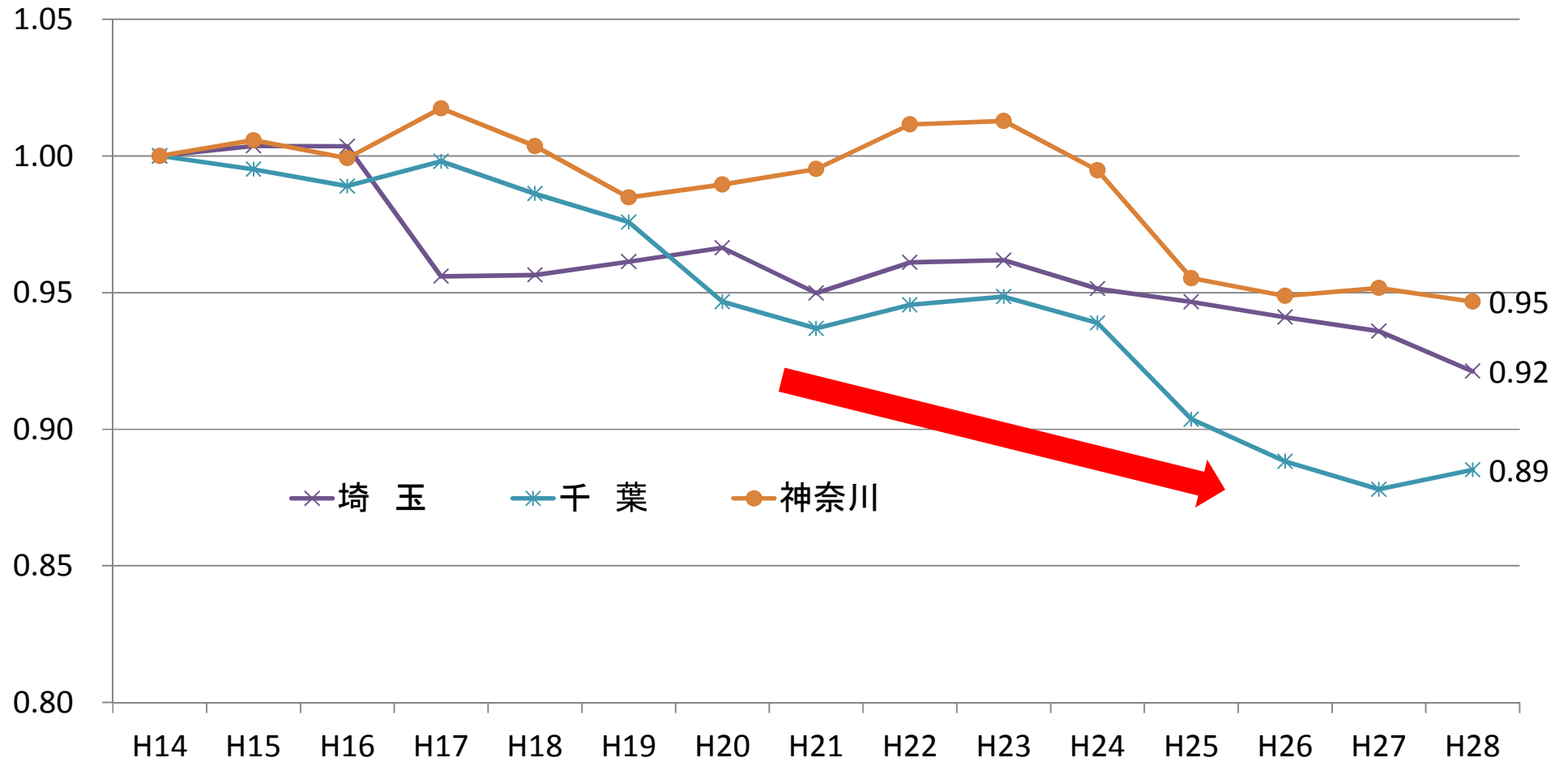
学生数の推移(東京圏、東京都(23区除く)、東京23区、その他)



(出所)文部科学省「学校基本調査」
東京圏:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
平成14年の学生数を1.00として計算。

埼玉県、千葉県、神奈川県の学生数は一貫して減少傾向

学生数の推移(埼玉、千葉、神奈川)



(出所)文部科学省「学校基本調査」
平成14年の学生数を1.00として計算。